

2024.10 2023 年度決算討論

議案第 72 号 令和 5 年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定について、生活者ネットワークとして賛成の討論をいたします。

2023 年度小平市の一般会計決算額は歳入 897 億 3264 万 7000 円、歳出 856 億 6231 万 3000 円、実質収支 37 億 123 万 5000 円の黒字でした。

2023 年度は 5 月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類にかわり、それまでの行動制限がなくなったこと、また、世界情勢の不安定化や円安の影響で食料品や光熱費の高騰が続き、市民生活に大きな影響がありました。市は小学校三年生までの義務教育就学児医療費助成の所得制限撤廃や学校体育館への冷暖房設備の設置、花小金井南中学校への校内別室支援員の配置等の子ども子育て施策、SNS を使用した女性相談の試行実施、公園の整備や物価高騰負担軽減策など市民生活に必要な施策を行い、適切な予算執行であったと考え賛成するものです。

賛成に当たり以下申し述べます。

- 1, 小平市第四次長期総合計画実現に向けて自治体経営方針を設けています。自治体経営は最小の経費で最大の効果を生み出す合理性のもとに進められていますが、行政側の合理性が市民の希望に添わない場合もあります。

自治体経営の考え方、事業の統合、廃止などの仕分けについては、市民に説明をして納得を得るだけでなく、市民とともに考えていくスタンスが必要です。自治体経営に市民や経営方針推進委員会の意見をしっかり活かしてください。

- 2, 公共施設マネジメントの進め方について

2024 年 1 月 29 日付で「公共施設マネジメント推進計画の改定に向けた方向性の検討」が示されました。建築資材や人件費などの高騰、建物の性能向上、人口のピークが後ろ倒しになったことや総人口の推計が上振れしたことなどへの対応をしていくことは良かったと思いますが、特に子どもの数が増えている地域の学校複合化整備は、やはり床面積の縮減を目標にするべきではないと考えます。計画したから目標に向かってどんどん推進するばかりではなく、状況を見ながら柔軟に対応していくこと、必要に応じては一旦立ち止まることが大切です。公共施設マネジメントの必要性や目標、進め方を再確認すること、一旦立ち止まることができる仕組みを作ること、市民の今をもっと大切にしよう要望します。

3, 市民自治と市民参加について

これまでも生活者ネットワークとして、市民参加の重要性とともに「小平市市民参加の推進に関する指針」の改定などでは市民参加が衰退していると、市の姿勢について指摘してきました。市は「パブコメや市民アンケート、意識調査、ワークショップなど様々な手法を駆使して市民参加の機会を創出してきた。庁舎内でも相当程度この意識が浸透してきたと考えている」旨の発言をしていますが、パブコメの把握漏れがあったことなど、実態が伴っていません。職員の意識改革、市民自治を発揮できる仕組みの構築を要望します。

4, 子育てしやすいまちを目指すことについて

小林市長の 87 の政策の柱として掲げられています。22 年度決算の総括質疑では「子育て施策なども充実させるなかで、選んでもらえる小平市にしていきたい。選ばれる小平市にしていきたい」旨の答弁がありました。市民を含め市全体で子育てを応援していく機運をたかめることが大切です。さらなる子育て施策の充実、子どもを十分に遊ばせられる環境を確保することを要望します。

5, 小平市の公文書管理について

第 1 期経営方針推進プログラム進捗状況（令和 5 年度末）には、予定より遅れているプログラムとして、公文書管理の適正化の推進及び歴史公文書の保存と利用環境の整備があげられていました。

これまでの間に適切に管理されず破棄されてしまった公文書はなかったのか、小平市の公文書管理は適切でないと感じます。生活者ネットワークは、公文書管理条例制定までと制定後に文書管理についての有識者による助言や研修の必要性を訴えています。市は「アーキビスト」による職員向けの研修を行い概ね 30 名程度参加した。としめています。専門家による研修や助言が不足しています。

公文書管理は情報公開の礎です。市の公文書の整理、保存、歴史公文書への移管または破棄に関し、早急な手立てをとってください。

6, 市の防災対策について

能登半島では、2024 年 1 月 1 日に起きた地震や 9 月の大雨による土砂崩れなどの災害がありました。一部では被害想定が甘かったのではとの報道もありました。被害想定の見え方も含め、その経験と教訓を市の防災対策に活かすべきと考えます。

能登半島では半年以上も生活用水に困っている場所があるとの報道がありました。生活者ネットワークはこれまでも生活用水のために避難所や公園などに井戸を設置すること必要性を訴えてきまし

た。

避難所や公園などへの井戸の設置、さらなる防災体制の充実、コミュニティの創出を要望します。

7, 職員の働くモチベーションについて

2023年度決算審査では庁内で情報共有ができていないことやケアレスミスが目立ちました。職員数は足りているのか、配置は適切か早急に検証する必要があります。さらに働き方については職員のニーズを聞き取ることや、先進事例などを参考にし、ワークライフバランスがきちんと図れるようにしてください。

教育長に1点申し述べます。

子どもの意見表明について、23年度は24年度の特別活動の日に向けて校長会などで「特別活動の日」発信したとのことでした。この事業は継続していくことが重要だと思います。教員や子どもたち、保護者がそれぞれ経験の蓄積ができるよう、さらなる取り組みの充実と継続とともに、日常のなかでも子どもたちが自分の意見を持ち発言できるような取り組みを増やしていくことを要望し、生活者ネットワークの賛成の討論といたします。